



保護者の皆さまへ

鹿大だより

第29号

◎編集・発行／国立大学法人 鹿児島大学広報センター
〒890-8580 鹿児島市郡元1丁目21番24号 TEL099-285-7035 FAX099-285-3854 E-mail: sbunsho@kuas.kagoshima-u.ac.jp



「さつつんサブレ」新発売!
スタンドパック5枚入:税込600円
ボックスタイプ12枚入:税込1,274円



PICK UP!

令和3年度卒業式・修了式
(2022年3月26日)



学位記授与▲



YouTube

令和4年度入学式
(2022年4月7日)



入学生宣誓▲



YouTube

卒業生・修了生の皆様、新入生の皆様、誠におめでとうございます。

本学では例年、鹿児島県総合体育センター体育館にて卒業式・修了式ならびに入学式を挙行しておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため大規模な式典を取りやめ、学内で規模を縮小し挙行しました。式典の様子は、動画にてご覧いただけます。

学部生1,921名、大学院生533名、計2,454名が本学を卒業・修了しました。式では、佐野輝学長が各学部および大学院研究科の総代22名に学位記を授与し、芝桜子さん(医学部3年)が在学生を代表し送辞を、園川竜征さん(共同獣医学部6年)が卒業生を代表して答辞を読みました。



在学生代表送辞者
芝桜子さん

「コロナ禍で直接会えない期間も長かったのですが、私はいつも連絡をくださった先輩方に救われていました。とてもお世話になっていたのでもっと卒業が寂しいです。私の学生生活もいよいよ折返し、将来のことを考えながら勉強を頑張りたいと思います。」



卒業生代表答辞者
園川竜征さん

「コロナ禍で卒業式修了式を開催していただいたこと、また、6年間支えてくれた家族にも感謝の気持ちでいっぱいです。4月からは、獣医師として社会に貢献できるように精進したいと思います。」



学部入学生代表
早瀬真悠さん

入学式を迎え、大学生になったことを実感(気が引き締まる)の思いです。受験時に支えてくれた両親にも感謝の気持ちでいっぱい입니다。コロナ禍で活動が制限される日々ですが、大学では沢山の新しいことにチャレンジしていきたいです!



大学院入学生代表
長屋未夢さん

県外からの入学・初めての人の入喜し、実は昨日まで不安な気持ちもありました。でも入学式を迎え、両親からもらったこの機会を大切に、失敗を恐れず積極的に学んでいきたいという気持ちに変化しました。これから、職についたときに活かせる力を身につけられるように頑張ります!

学生4人にきいてみた!

私の日々の過ごしかた

新型コロナウイルスの影響が続く日々。学生たちはどのような生活を送っているのでしょうか。様々な分野で活躍する学生の「日常」をレポートします。



インタビューア
法文学部人文科学科3年
小田夏好さん

妊産婦支援チャリティイベント「ホワイトリボンラン鹿児島」の学生代表を務める

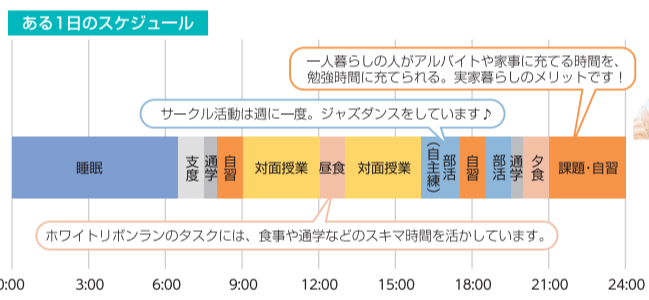


医学部2年
岩崎美雨さん



岩崎さんを動画で紹介!

- 部活動:ダンスサークルKIRSCH
- 実家暮らし
- アルバイト:なし
- 通学時間:車で30分



— 自習の時間が3回も...勉強が大変です。 —

2年生では、免疫学・薬理学・遺伝学などの基礎医学分野を学ぶのですが、試験や実習も多く、医学部生の中でも大変な時期の1つだと言われています。解剖学の実習は特に、朝から夜の21時頃までかかるほど学習が多かったです。

サークルのことだけでなく、勉強や就職先のことなどを先輩から教えてもらえる環境なんです。

— 入学当初からコロナ禍でしたが、どんな風に友人関係を構築してきましたか? —

1年生の頃はほとんどがオンライン授業で、他の人達の状況がわからず不安でした。ですので、週に1度の対面授業の際には話をしたいのは皆の話し、話さずとも勇気を出して周りの人に話しかけるようにしていました。今はほとんどが対面授業になりましたが、友達も沢山増え、お互いに勉強を教え合ったりもできるので、とても楽しいです。

— ホワイトリボンランの活動もですが、行動力があり尊敬します! —

行動力はこの2年間で身についたかなと思います。私は大学入学当時コンプレックスを抱えていたのですが、コロナ禍での人と会えない期間で自分を変える努力をして、それを解消することができたんです。そこから自信がついて、色々なことにチャレンジしたいと思えるようになりました。ホワイトリボンランの活動もそのうちの1つです。



ホワイトリボンラン鹿児島島の運営メンバーで募金箱製作!▲

— 今後の目標があれば教えてください。 —

私は鹿児島県医師修学資金という条件付きの奨学金をもらっているのですが、卒業後の9年間は県内の医師不足の地域で働く予定です。専門分野はまだ決めていませんが、例えば泌尿器科や産婦人科など、女性目線で女性医師が増えたいと思うような分野に進みたいと思います。そしていざれば医師として、途上国で女性のサポートを行う仕事もしてみたいです。

全日本学生馬術大会で優勝

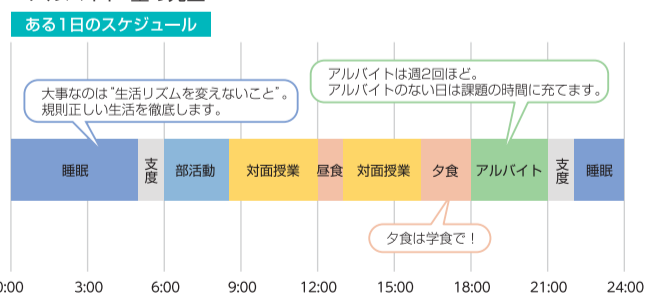


共同獣医学部3年
安城駿介さん



安城さんを動画で紹介!

- 部活動:馬術部
- 一人暮らし
- アルバイト:塾の先生
- 通学時間:自転車10分



— 朝5時起床!凄いですね。馬術部ではどんなことをしているのですか? —

毎朝馬に乗って、障害飛越(障害物を飛び越える競技)と馬場馬術(決められた動きを美しく行う競技)の練習をしているのですが、練習よりも大事なのが馬のケアです。1日1回体を洗

い、朝夕の2回馬房(馬の部屋)を掃除し、早朝・朝・昼・夜の計5回餌をあげています。

— 想像以上の大変さでした...! —

正直、早起きが嫌なときもありますよね。課題が終わらず22時に寝ることができないと、翌日はだるい感じがします。それでも、私はとにかく馬が好きで、好きな気持ちがあるからこそ、この生活です。

— 部活動を終えたら授業へ。対面授業が多いのでしょうか? —

2年生までは薬の名前や細胞など基礎科目が中心でしたが、3年生になり、臨床科目を学び始めました。とにかく現場で使う知識なので、ほとんどの授業が対面です。オンライン授業はコロナの感染状況にあわせて、時期だけ。友達の中には朝ゆっくりできるからオンライン授業の方が好きだという人もいますが、私は馬術部の活動で毎日早朝からキャンパスにいるので、対面授業でもオンライン授業でもどちらでもいいかなと思います。ただ、実習は対面授業がいいですね。

— 今後の目標があれば教えてください! —

6年生になると国家試験があるのですが、合格して獣医師の免許を取得することが目標です。ただ最近では、獣医師の免許を取得した上で、競馬の調教師を目指してみるのが面白いかなと、1つの選択肢になりつつあります。競馬学校に行き、厩務員の経験を積んだ後に調教師免許の取得...。狭く長い道ですが、大きな夢がありますよね。馬と触れることが仕事にできたかなと思います。



全日本学生馬術大会にて安城さんと愛馬のアンカットジュエル号▲

*学生の学年は2022年3月現在のものです。

私の日々の過ごし方 part 2

操縦飛行体験プログラム「SKY CAMP」1期生

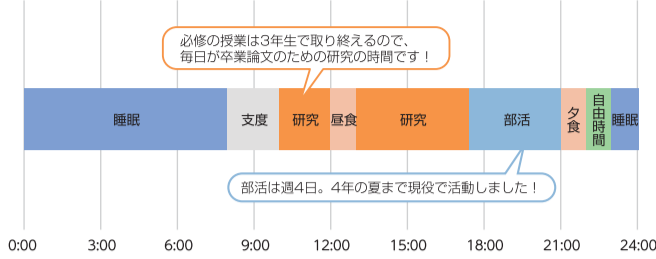


工学部4年 立山 陸さん



- 部活動:ハンドボール部
- 一人暮らし
- アルバイト:コンビニ店員
- 通学時間:徒歩で数分

ある1日のスケジュール



***SKY CAMP**…本学、日本航空株式会社(JAL)、日本エアコミューター株式会社(JAC)の3者が、連携協力協定に基づき地域に貢献する地域密着型パイロット人材創出プログラムとして実施するインターシップ。1期生、名づち、立山さんを含む2名がパイロットに就く人財として、JACCの条件付き内定を付与されました。

卒業論文の研究は、どのような研究ですか？

工作機械の工具の振動制御の研究をしてきました。工具でものを削る際に振動が起ると、表面が綺麗にならなったり、思うように削れなかったりするんです。制御のプログラムを改良して、実際にものを削った際に振動が制御されているかを確認する、そのトライ&エラーの研究です。



部活動での思い出の1枚!▲

卒業後の目標があれば教えてください！

卒業後は、鹿児島大学とJACC、JACCの3者からパイロットになるための支援を頂けることになりましたので、まずは必要な知識や技能を学び、副操縦士になることが目の前の目標です。将来は、地元である奄美や離島の生活路線を支えていけるような、そして細やかなことまで当たり前にできるようなパイロットになりたいと思います。

部活動は週4日も活動されていたんですね！

部活漬けでした。(笑)高校の頃からハンドボールをしていて、大学でもしっかりやっていたので。

コロナ禍の影響はありましたか？

練習ができない時期もありましたし、大会自体の中止や、大学のサークル活動禁止期間もありました。3年生以降は大きな大会に1度も出場できなかったことが、何より悔しくて…。コロナ禍での活動内容としては、オンラインで仲間と筋トレをしたり、県外の練習試合ができない代わりに県内の高校生チームと練習試合をしたりと、できることで工夫を凝らしてました。

魚を用いてうつ病に効く成分を研究中！

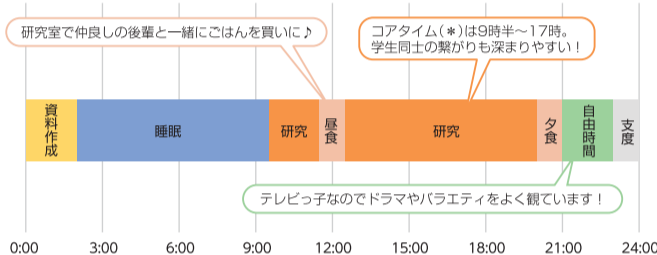


連合農学研究科博士2年 河辺 ももこさん



- 部活動:ウミガメ研究会(学部生時代)
- 一人暮らし
- アルバイト:コロナ検査キットの製作
- 通学時間:自転車で10分

ある1日のスケジュール



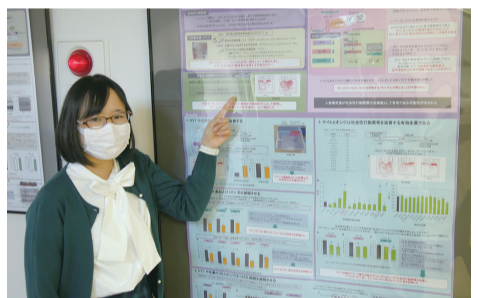
***コアタイム**…研究室にしなければならぬ時間帯。間帯。

コロナ禍ならではのアルバイトですね。

工学部にある学内ベンチャー企業から、研究室経由で科学の心得のある学生の募集があり、試薬の調査やセット、コロナ検査キットの品質改善のための研究のお手伝いをしました。学部をまたいで協力し合える総合大学ならではの良さを感じましたし、社会貢献ができたかなと嬉しく思っています。

研究室ではどんなことをしているのでしょうか？

魚に漢方薬や薬になりそうな成分を食わせて、うつ病を改善できるかどうかを研究しています。私の研究室には、うつ病モデルの魚「ゼブラフィッシュ」がいるんです。



河辺さんのポスター発表資料。第70回日本応用糖質科学会で優秀ポスター賞を受賞しました!▲

今後の目標があれば教えてください！

研究して終わりではなく、自分の研究成果を実際に「製品」という形で患者様に使ってほしいと思っています。それを叶えるために、私は卒業後、企業に入りたくです。研究室での活動の中で先生や仲間たちから得た様々な力を、社会で活かすことができたらいいなと思います。

研究活動にコロナの影響はありましたか？

学会という自分の研究成果を発表する場があるのですが、コロナの影響で多くがオンライン開催や、現地とオンラインのハイブリッド開催となりました。わざわざ移動しなくても参加できる選択肢が増えたことはありがたいのですが、私はどちらか経験してみたい結果、現地のほうが好きでした。ポスター発表の場合、自分の説明後に、雑談しながら質問をもらえることがあるんです。そこから更に深い話に発展したり、相手の研究について教えてもらったり、思わぬところから研究のヒントが得られるのが現地の面白いところなんです。

魚が人のモデルになるんですか？

人間は急に驚かされるなど不安を感じると動きが止まることがありますが、ゼブラフィッシュも同じく、ピクッと動きが止まります。この性質を活かして、飲むだけで不安を解消する物質を探ることができるといいです。食べるわけではなく、魚をモデルにすることで人が健康になるなんて、面白いですよ。

研究室から

大学の研究室ってどんなところ？

新永研究室

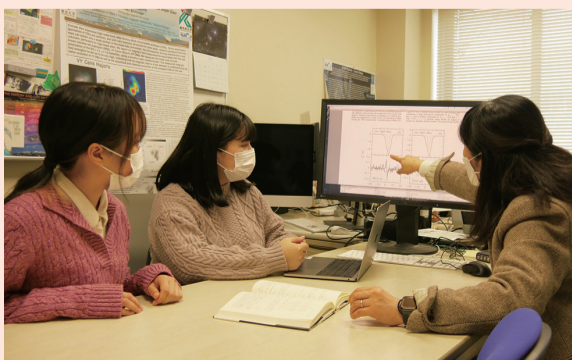
指導教員: 新永 浩子 准教授 (大学院理工学研究科(理学系) 物理・宇宙プログラム)
所属学生 (2021年度): 修士課程 2名、学部4年生 1名、3年生 1名、2年生(仮所属) 1名 (計5名)

私達の身近にありつつも謎の多い宇宙。今回はそんな宇宙の神秘に挑む、新永准教授の研究室へお邪魔しました。

磁場・偏波から宇宙の謎に迫る研究

“星はどのように生まれてどう進化していくのか”“銀河の中心にある超巨大ブラックホールは周囲にどんな影響を及ぼしているのか”。天体からの偏波はとても重要な磁場の情報を含んでおり、観測し紐解くことで、隠された宇宙の秘密に迫ることができます。様々な望遠鏡の観測データのアーカイブから調べたい天体のデータを取得したり、時には現地で、あるいは大学から天文台の望遠鏡を操作しデータを取得しています。これらから読み取った磁場

を含む天体の物理量を推定し、シミュレーションによる結果と比較することが、私たちの研究の主な手法です。私はアメリカで長く研究していましたので、海外の研究者との深いつながりを活かしていることも研究室の特色の1つです。国際シンポジウムを企画・開催し、学生たちに発表してもらったり、スタンフォード大学カールワイマン教授の特別講義を企画し、全学の教職員、学生と議論したり。コロナ禍ですが、リモート会議システムなどを活用して積極的に、国内はもちろん、海外の研究者とも議論しています。研究をする上で大切なのは、最後まで諦めないこと。諦めずに一步一步進んでいくと、必ず目的地までたどり着けます。女子だから、男子だからできないなんてことはありません。目標を持ち、夢を描きながら宇宙の謎の解明に向けて、一緒に挑戦しましょう！



天体からの磁場の情報について議論する様子▲

研究室で学ぶ学生の声

大学院理工学研究科(理学系) 修士2年 深谷 紗希子さん



研究活動の中で一番印象的だったのは、新永先生からのご助言がきっかけとなった長野県野辺山の口径45mの望遠鏡での観測です。望遠鏡を使わせてもらうには、まず観測の企画書を出して審査で選ばれる必要があります。その上で、太陽の位置や風の向きも考慮しながら指示書を作り、観測スタート。80時間の観測を3人で回したのは流石に大変でしたが、楽しくもありました。責任感が生まれ、自分の成長にも繋がるいい経験になりました。

卒業後は、航空管制レーダーや衛星の運用などを扱う企業へ就職する予定で、システム開発に携わりたいと思っています。プログラミングは、自分で作ったものがしっかり動いた瞬間に面白さがあります。これまで研究を通して学んできたプログラミングが、仕事に直接役立てられることがとても嬉しいです。

理学部2年 熊野 朱里さん



私は、本来であれば3年から研究室へと配属になるのですが、仮所属という形で2年のうちから研究室で勉強させてもらっています。1年の春休みに、友人が自主的に研究室訪問をしていることを知り、星に関する研究内容、また女性の先生だということに興味を持って、新永先生のもとを訪ねたことがきっかけでした。本格的な研究はまだこれからで、就職先についても考え中ではあるのですが、大学院には進学したいと思っています。大学院では学部以上に詳しく研究ができますし、将来やりたいことがはっきりとした時のために就職先の幅を広げることができるからです。研究室での活動の中で、これからの選択肢について沢山考えていきたいです。

■HPで本学教員の研究内容等をご紹介! 「研究一直線」をぜひご覧ください。



学部トピックス

9学部のいま

各学部の広報委員の先生方に、学生の活動をレポートしてもらいました。

法文学部 カナダ・ビクトリア大学オンライン海外研修を実施

法文アドバンスト科目「海外異文化体験実習(カナダの法と社会)」では、2月15日から19日の5日間、カナダ・ビクトリア大学から授業提供を受け、オンライン海外研修を実施しました。法文学部のほか理学部、医学部、農学部、農学部の学生を含む14名が受講し、カナダの法制度、プリティッシュ・コロンビア州の歴史、先住民の歴史・文化、カナダの外交政策・環境政策、カナダの芸術など、幅広い分野について英語で学びました。最終日には「環境汚染と交通手段」や「世界自然遺産とエコツーリズム」など受講生が自ら選んだテーマについて、グループによる発表や英語でのディスカッションも行いました。受講生からは「さらに英語のコミュニケーション能力を磨きたい」などの感想が寄せられ、コロナ禍でのオンライン海外研修の重要性を改めて認識しました。



最終日にオンラインで修了証を授与される法文学部1年生の前園 真鈴さん

(記:法経社会学科教授 松田 忠大)

教育学部 卒業・修了制作展

毎年学年末の2月には卒業・修了制作展「卒展」が開催されます。令和3年度卒業・修了の教育学部美術専修生、教育学研究科生の絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術教育論文の総計54点が、鹿児島県歴史・美術センター黎明館にて展示されました。学部生は1年から2年前期にかけて全美術分野の内容を習得し、その後2年後期から各ゼミに分かれ専門的に深く掘り下げ、4年次の集大成としての卒業作品、卒業論文と参考作品を発表しました。また大学院生は、更に専門分野について理論と実践を深め、作品および論文に完結させました。特に県美術展などの公募展に積極的に出品し受賞し、その社会貢献が認められ「稲盛賞」を受賞した研究科2年の花里 佳奈さんの絵画作品が多くの観覧者の目を引いていました。コロナ禍の中、6日間という短い期間での開催でしたが、連日200人を超える入場者があり大盛況でした。本年度から大学院修士課程教育学研究科の廃止に伴い、これが研究科修了生としては最後の展覧会になりましたが、卒業制作展「卒展」はこれまで同様に年度末の同時期に開催されることになっています。



鹿児島県歴史・美術センター黎明館 第2特別展示室 2月22日～27日

(記:美術教育教授 池川 直)

理学部 卒論、提出!

卒業、旅立の季節となりました。3月某日、生物学プログラム上野研究室を訪問しました。この3月で修了予定の大学院生が修士研究のまとめや、実験室を整理していました。また、4年生が卒業論文の提出に訪れていました。今年度も昨年度に続きコロナ感染状況の快方・悪化に一喜一憂する中での研究活動でした。対面での学会発表や出張を伴う実験・研究活動、野外実習のような学外での活動が思うようにできない状況だったそうです。そんな中でも、学生の皆さんは根気強く卒業研究や修士研究を続け、まとめてきたことと思います。4月からはまた新しく研究室の門戸をたたき学生たちが、研究活動を引き継いでいきます。鹿大理学部から旅立つ皆さん、新天地でも大いに活躍してください。



卒業論文の完成を、手渡しで報告です。

(記:理学科物理・宇宙プログラム准教授 三井 好古)

医学部 保健学科学生と地域在住高齢者との世代間オンライン交流

医学部保健学科3専攻および法文学部心理学コースの学生はデイサービス利用の高齢者とオンライン交流を延べ10回行いました。学生企画の集団体操や認知機能ゲームを行ったのち、個別で会話をしました。コロナ禍において臨床実習やボランティア活動が制限される中、少しでも障害を持った高齢者と交流を図り、生活や心理状態を知る機会を提供できればと考えています。学生は、認知症をお持ちの高齢者に対し始めは緊張した様子でしたが、回数を重ねるに連れ会話もスムーズになり、回想法を用いて趣味や地域文化の話で盛り上がっていました。高齢者にとっても外出制限によるストレスを抱え、抑うつや焦燥、認知機能の低下が進む方もおられる中で、学生と交流することが楽しみになり、自発性や笑顔が増えている様子だとデイサービス職員から高評価でした。



プレイアウトルームでの個別会話の様子

(記:作業療法学専攻教授 田平 隆行)

歯学部 6年間の学修の成果をみせるとき～歯科医師国家試験

1月29日・30日に歯科医師国家試験が実施され、6年生が受験しました。昨年同様COVID-19に感染している者は受験が認められないという制限の中、平時の学生達より緊張を強いられたと思います。そして3月16日に同試験の合格発表が行われました。国内に歯科医師養成課程をもつ大学が29ありますが、本学は昨年の試験において最低修業年限国試合格率(入学から留年無く卒業し卒業年の国試で合格する学生の割合)全国1位を達成しました。12年前に文科省が同合格率の発表を始めてからの平均値でも4位であり、本学部の学生達が6年間精進し続けて得られた素晴らしい成果です。なお、今回の試験の合格率は今秋発表されます。5年生までの専門科目の授業は1月中旬から遠隔形式に切り換えざるを得ませんでした。後期(10月～)の大半は対面で行うことができました。

(記:口腔生理学教授 齋藤 充)



講義・実習と自己学習を6年間積み重ねます

工学部 実験・実習を楽しめる日々

工学部では「ものづくり」の学びを通じて、将来の日本の産業を支える技術者・研究者を育成しています。そのために学生は、講義で知識を学ぶだけでなく、頭にある知識を実際に使える技術として身につける必要があります。これに必要なのが実験や実習です。例えば、製図、測量、回路設計、有機合成、プログラミングなど、具体的な成果が目に見えて自分の進捗がわかる、工学部の醍醐味を存分に味わえる科目です。



設計課題の様子 稲盛会館(京セラ創業者稲盛氏寄贈)にて

今年度の後期は、新型コロナウイルスの小康状態が続いたため、対面での実験・実習に十分な時間を確保することができました。学生からも、「対面での実習は図面に描きこみながら指導してもらえてわかりやすい」などの声があり、対面指導を待ち望んでいたことが伺えます。今後も社会情勢に合わせて学生に魅力的な授業を提供できるよう工夫していきます。

(記:先進工学科教授 橋本 雅仁)

農学部 新たな農学への挑戦

農学部では、令和4年度から農林環境科学科に「スマート農学コース」を新設しました。これは、農林畜産学分野の生産から加工・流通に至る過程で、デジタル技術を駆使することにより、データの集積と解析を行い、それらの結果を作業の効率化や省力化、収量や品質の向上、さらには販売網という広い範囲に活用していく教育を行うものです。初年度はまず、水田や温室などに測定機器類を設置し、情報を集めるところから始めます。例えば、土壌中の水分や栄養素の量、気温、日射量などの環境を測定し、同時に作物の生育を記録します。これにより環境と生育の関係を明らかにして、人の経験と勘に頼ってきた栽培をデータに裏付けられた管理に変換することで、高品質、高収量を目指します。農学部はこれからも地方創成に向けた人材育成に挑戦していきます。



附属農場でのトルコギキョウの栽培実習

(記:附属農場教授 遠城 道雄)

水産学部 水産学部はフィールド教育を継続しています。

コロナ禍がなかなか収まりません。水産学部でも感染対策に十分に配慮して教育活動、研究活動に取り組んできました。リモート講義に学生・教員ともどもかなり慣れてきましたが、早く対面に戻せるよう願っています。さて、水産学部は水産業を支える学部なので、卒業研究でも水産業の現場でフィールド調査を行う学生が多いです。こうした場合には、調査先と事前の打ち合わせを十分に行い、感染対策を万全にした上で、フィールド調査に取り組んでいます。こうしたフィールド教育では大学内で学べないことがたくさんあり、社会の中で得られる実経験は学生が成長するために何より重要です。コロナ禍でも教育や研究の質が落ちることのないように、教員と学生が一丸となってフィールド教育に取り組んでいます。



鳥取県境港で行われている養殖現場での実態調査

(記:水産経済学教授 佐野 雅昭)

共同獣医学部 動物園の動物に対する臨床実習

人間は様々な野生動物を動物園でみることができ、自然界とは異なる環境で飼育されていることを忘れてはいけません。獣医学分野では動物園の動物を、野生動物ではなく展示動物として対応します。展示動物は野生動物本来の病気だけではなく、動物園の飼育環境による病気、不慮の事故、老齢性の病気、腫瘍なども発生し、動物園の獣医師は様々な動物が天寿をまっとうできるように飼育と治療を行わなければなりません。どのようにして動物と向き合うのかを考えながら日々の健康観察と検診を行い、病気があれば最善の治療を施しています。共同獣医学部の学生はそれを直にみる実習を全員が受講します。受講した学生は「大変なためになった。獣医師の仕事は奥が深い。まだまだ勉強しなければならない。」と話していました。

(記:獣医学科教授 三好 宣彰)



動物園で飼育されているインドゾウの蹄の検診



保護者アンケートより

前号に寄せられたご質問にお応えします！



就職支援について教えて！

キャリア形成支援センターには、キャリア教育を担う専任教員と民間企業出身者を含む専任スタッフ及び就職相談員が配置されており、入学時から卒業まで、さらに卒業・修了後も含めた学生の多様なキャリア形成を、低学年次からのキャリア教育や正課外のキャリア・就職支援、またインターンシップや個別相談を通してサポートしています。



▲企業、公共団体からの求人ファイルなど様々な資料を閲覧できます。



キャリア形成支援センターHP▲

2022年度 全学キャリア・就職支援プログラム(予定) ※1

◎1～2年生対象	
前・後期	● 共通教育科目「キャリアデザイン」
前・後期集中	● 高度共通教育科目「社会人基礎力演習」(2年以上)
1月11日	● 1、2年生対象進路ガイダンス
◎3年生(修士1年生)対象	
5月～翌年4月	● 公務員採用試験対策講座開設(大学生協)
4月20日	● 第1回就職ガイダンス「就活スタートアップ」
4月27日	● 第2回就職ガイダンス「インターンシップ活用と業界・企業研究」※2
5月18日	● 第3回就職ガイダンス「インターンシップ選考対策」※2
6月上旬	● 学生向け就職小冊子「就職支援ガイドブック」発行
7月13日	● 就職支援講座Ⅰ「グループワーク実践」※2
8月10日	● 就職支援講座Ⅱ「就活マナー実践」
10月5日	● 第4回就職ガイダンス「今から始める！就活」
10月19日	● 就職支援講座Ⅲ「インターンシップ振り返り講座」※2
12月～翌年6月	● 教員採用試験対策講座開設(大学生協)
11月2日	● 第5回就職ガイダンス「公務員希望者向けガイダンス」
12月中旬	● 学内業界研究フェア※2
12月中旬～2月中旬	● 就職支援講座Ⅳ「模擬面接&グループディスカッション実践」(期間中3回)
1月18日	● 第6回就職ガイダンス「就活直前対策」
3月上旬	● 学内個別企業セミナー・フェア(講義形式・2日間)
◎4年生(修士2年生)対象	
4月～翌年3月	● 学内個別企業説明会(随時)
4月6日	● 公務員採用試験説明会(鹿児島県、鹿児島市等)
5月	● 公立学校教員採用試験説明会
6月1日	● 就活応援講座Ⅰ「就活見直し講座」
6月8日	● 就活応援講座Ⅱ「公務員・教員受験者向け集団討論対策」
6月29日	● 県内企業による学内合同企業説明会(ブース形式)
7月～	● 県外企業によるWeb合同企業説明会
11月22日	● 個別進路相談会
◎全学年対象	
5月25日	● 「かごしま課題解決型インターンシップ」受入企業による説明会
6月22日	● インターンシップWeb合同企業説明会
8月～	● 「かごしま課題解決型インターンシップ」(随時) ※3
10月～翌年2月	● 業界・職種研究セミナー(随時)
11月30日	● 中小企業の魅力発見講座「社長と語ろう」
12月3日、2月中旬	● 卒業生による就職・キャリア支援セミナー(年間2回)
2月中旬～3月上旬	● 地元企業よかとこ発見！見学ツアー

※1：記載以外にも各学部主催で就職ガイダンス、説明会等を開催しています。詳細は各学部の就職担当窓口まで
 ※2：3年生と修士1年生が主対象ですが、他の学年の学生も参加できるイベントです。
 ※3：要相談。詳細はインターンシップ窓口まで

INFORMATION

● 鹿児島大学公式HP



● 広報誌

「鹿大ジャーナル」



● YouTube

鹿大チャンネル



● 広報センター

Instagram



【編集後記】広報センターより

今号の裏テーマは「動く鹿大だより」。1-2面「私の日々の過ごし方」の取材の様子を元に、学生さんの紹介動画を製作してみました！文字では伝えきれない学生さんの生の声を、QRコードからサッとお届けできれば嬉しいです。(広報センタースタッフ)

活躍されている皆さんからお話を聴いて、大変刺激を受けました！私も残り1年の大学生活で、皆さんのようにまだまだ挑戦し続けていきたいと思います！(広報サポーター-小田)

※本紙の送付にあたっては、学生が学務Webシステムに登録している住所データを利用しています。住所変更時や送り先の変更をご希望の場合は、学生に変更手続きを行うようご連絡ください。住所を含む学生情報の変更は、学生本人のみ行うことができます。

● 第60回鹿大祭を開催
 11月12日から14日にかけて、第60回鹿大祭が開催されました。飲食を伴う模擬店を中止し、本学の学生と教職員に参加を限定するなど、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を行った上で、2年ぶりの開催となりました。今回の統一テーマは「涓滴、新しい時代を切り拓こう！」。したた

鹿大の主な出来事

2021年10月
 ~2022年3月



EVENTS IN KAGOSHIMA UNIVERSITY
 詳細は、大学HPをご参照ください。



フリーマーケットの様子▲



野外ステージでのライブ。観客も声を控え、手拍子で応援！▲

▲大学祭の様子は大学HPでも紹介しています。

● 学長と学部新入生との懇談会を開催
 11月15日(令和3年度学長と学部新入生との懇談会)をオンラインで開催しました。この懇談会は、学長自らが学生の意見や要望等を聞き、今後の大学運営に役立てることを目的として実施しているものです。各学部から15名の学生が出席し、学生生活について入学してから現在までの状況と将来にむけてどのようなことを学びたいかをテーマに、佐野輝学長に率直な意見や要望、将来に向けての想いを話しました。

り落ちる水滴もずつと落ちていればやがて岩にも穴をあける、という意味のことわざ「涓滴岩を穿つ」からインスピレーションを広げたものです。当日は郡元キャンパス内の各所にて、様々な工夫を凝らしながら日々の成果を発表する姿が見られました。

ヨット部

9名(男子6名、女子3名)

Clubs

サークル紹介



土日に平川ヨットハーバーで活動しております。昨年度、74期を迎えました歴史ある部活です。…と言いますと経験者が多そうに思いますが心配ごいせません、部員の大半は大学から始めた初心者なのです。優しい先輩(少し変わった愉快な人たち)が迎えてくれます。あなたもヨットしませんか？共にレースしませんか？平川にてお待ちしております。
 /副主将：白木原 泰一朗さん(理学部2年)

書道部 31名(男子2名、女子29名)



黎明館へ書道展の作品を搬入！▲



古典を見ながら書体や作品を決め、壁にかかっているような大きな紙に表現します。▲

主に年3回の展示に向けて作品作りに励んでいます。様々な古典に触れながら、自分なりに表現していく楽しさが魅力です。展示では、一から自分たちで協力して会場の設営を行うのでやりがいがあります。普段の活動での参加義務は特になく、自由に活動しています！
 /主将：田尻 真菜さん(法文学部3年)

如何様ライダー 83名(男子28名、女子55名)



県内唯一のアカペラサークルです。大学からアカペラを始める人がほとんどで初心者からのスタートですが、学内外のイベントに積極的に参加しています。最近ではフジテレビのハモネブへの出演実績もあります！どんな人でも大歓迎です！ボイスパーカッションをやりたい人も大募集しています！ぜひ、気軽に遊びに来て下さいね(^^)
 /主将：金井 純花さん(教育学部2年)

